



文化庁委託事業「平成27年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
 主催：文化庁、日本児童・青少年演劇劇団協同組合
 制作：日本児童・青少年演劇劇団協同組合

in 九州

これからの ベイベードラマを 考える

ベイベードラマ、アンダースリー、スモールサイズ……世界で様々な呼び方で注目を浴びている、最も小さな観客に向けた舞台芸術。児演協で、昨年度に招聘したセルビアからの作品『Baby Space』は非常に大きなインパクトを私たちにもたらしました。特別な時間しか体験できない、このはかない芸術について、世界ではどんな広がりをもちつつあるにか？セルビアの振付師・演出家 Dalija AćinThelander、イギリスの研究者 Ben Fletcher-Watson、ポーランドの舞台美術家・プロデューサー Barbara Matecka、この分野で活躍している三人の講師をお招きして、現状と未来を語ってもらいます。

開催日

7月29日(水)
10:00~12:00

回数

1回

定員

30名

参加料

無料

対象

児童青少年演劇実演家及び関係者
または新たに関わろうとする方

会場

なは市民活動支援センター 会議室③



なは市民活動
支援センター 会議室③

〒900-0004
沖縄県那覇市銘苅2-3-1
なは市民協働プラザ2・3階

講師



Ben Fletcher-Watson
(スコットランド)

スコットランド王立音楽学院とセントアンドリュース大学を卒業。乳幼児に対する劇場の現代運用に関して研究。自閉症パフォーマンス、胎児への演劇や、パントマイムの歴史を含む幅広い分野を研究。Theatre Review、Youth Theatre Journal や Research in Drama Education等のジャーナルに出版され、Scottish Journal of Performanceの編集者に目にとまる。また、UK Theatre and Performance Research Association (TaPRA)の役員を行い、アシテジネクストジェネレーションアーティストの一員でもある。近刊書である、「Visual Theatre for Children」(子供たちの為のヴィジュアルシアター)は2016年Intellect Ltdより出版される予定である。



Dalija AćinThelander
(セルビア)

フリーランス・アーティスト。セルビア・パレエ協会会員。アシテジ・セルビア会員。ダンサー、振付家。2009年、「Book of Wandering, TIBA」国際児童演劇フェスティバル・児童演劇の新しい傾向に対する特別賞(バオグラード)。2011年、「Book of Wandering MESS」児童劇フェスティバル優秀作品銀ローレル・レス賞(サラエボ、ボスニア)、児童劇フェスティバル観客賞(サラエボ、ボスニア)。2012年に、「Certain very important matters」[とても大切なこと]が、ベイベーのためのパフォーマンスMESS児童劇フェスティバル観客賞(サラエボ、ボスニア)。「ベイベースペース」をはじめとする多くの乳幼児向け作品の振付を担当としている。



Barbara Matecka
(ポーランド)

演劇学者・プロデューサー。ポツナンのアダム・ミツキェヴィチ大学で演劇学を学ぶ。アートフラクションファウンデーションを共同設立、理事を務める。2009年よりキュレーターとしてポツナン児童芸術センターと幼児のための国際フェスティバル「アート・シークス・サ・ドゥラー」を開催、クリエイティブヨーロッパのスモースサイズ(乳幼児のための舞台芸術)プログラムとの連携や児童芸術ビエンナーレのプログラムを担当している。2013年にミニアトウラシティーシアターの主催者・教育コンサルタントに就任。母国であるポーランドを中心に、ヨーロッパ各地の演劇フェスティバルとコラボレーションしている。子どものためのクリエイティブワークショップも行っている。「brzUCHO」(Wroclaw Puppet Theatre)、「Lódeczka」(Cyprian Kamil Norwid Theatre / Jelenia Góra)、「NIEBosklon」(Wojciech Boguslawski Theatre / Kalisz)では舞台美術を製作。

申込

フェスティバルチケットセンター(運営時間 10:00 ~ 18:00)

TEL. 098-943-1357 〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-3-13

【お申し込み】FAX: 098-943-1357